

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（他の研究機関への既存試料・情報の提供用）

西暦 2019年 1月 7日作成

研究課題名	食道癌根治的化学放射線療法後 CR となった症例におけるサルベージの適応判断と予後に関する後ろ向き調査
研究の対象	当院及びこの研究に参加する多数の医療機関で食道癌と診断され、2010年1月1日～2014年12月31日の間に主な治療として初回に化学放射線療法を行い、治療後1年以内に一度でも完全奏功（Complete response; CR。胃カメラとCTスキャンによる評価において食道癌病巣が消失したと診断できる状態。）と診断された患者さん。
研究目的 ・方法	食道癌の化学放射線療法施行後、再発の早期診断に有用であった検査の種類、時期、所見を可視化することを目的とします。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査、病理検査などのデータを収集して統計解析を行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。
研究期間	西暦2019年 1月 23日（承認日） ～ 西暦2019年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学放射線療法開始前の情報：年齢、性別、腫瘍の組織型等</li> <li>・化学放射線療法の情報：照射開始日、照射終了日、外照射総線量、レジメンの詳細等</li> <li>・放射線照射完了後に行った検査：内視鏡所見、CT所見、PET所見、腫瘍マーカー、CR判定時期</li> <li>・予後</li> <li>・サルベージ（追加）治療の詳細</li> </ul>
外部への 試料・情報の 提供	個人を特定できる情報を削除し、匿名化した調査票をCD-ROMに保存し、研究代表施設である東京大学大学院医学研究科へ送付します。当院でも東京大学大学院医学研究科でも、各施設の個人情報の取扱い規準に則り、厳重に管理されます。
研究組織	<p>研究代表施設：東京大学大学院医学研究科・消化管外科学 瀬戸 泰之</p> <p>共同研究機関：癌研有明病院 渡邊 雅之 北里大学 山下 継史</p> <p>研究協力施設：横浜市立大学附属市民総合医療センター 他、全国の食道学会認定・専門施設</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

**問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科

(研究責任者) 佐藤 涉

電話番号：045-261-5656 (代表) FAX：045-261-9492